

「菱田小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

大崎町立菱田小学校

2 学年・人数

銭太鼓 6年生（計10人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年9月～11月 6年教室，菱田小学校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和元年11月9日（土） ひまわり学習発表会（菱田小学校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

(2) 由来

元々は東新町地区に伝わる伝統芸能であり，地域で継承活動を続けて大運動会等で披露していたが，子どもや指導者の減少によりしばらく途絶えていた。コミュニティスクール運営協議会の話合いの中で，学校が中心となって菱田地域全体としての伝統芸能として復活させたいということになり，東新町地区の指導者・保護者に協力を依頼した。

(3) 構成等

30cmの竹筒の中に硬貨を入れ，それを2本持って座って踊る。硬貨の鳴る音を利用して安来節に合わせて踊るが，流行のポップスなどにも合わせて踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

学校が中心となり，東新町地区の全面的な支援の下，教育課程（総合的な学習）に位置付け，菱田地区全体の郷土芸能として推進していく体制を整えた。毎週木曜日に5名の指導者を招き，発表まで熱心に指導していただいた。発表後も，指導者とは定期的に交流活動を行い，来年度以降の指導も依頼している。学校を中心として銭太鼓を伝承していく体制が整った。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら銭太鼓を継承していくために，指導者と担当者，児童支援加配担当者との打合せ会を行い，学校も支援している。今年度は試験的にひまわり学習発表会で披露することになり，6年担任や児童支援加配担当も共に練習から発表まで参加している。今後も継続して地域と連携して棒踊りを伝承していける体制を整えた。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



練習風景



ひまわり学習発表会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【6年生児童】

- ・ 地域の方々にたくさんの激励の声をかけていただき，励みになった。

【教職員】

- ・ 学校の教育活動の中で地域の伝統芸能を学ぶ機会がなかったため，この銭太鼓を踊る活動を通して，生まれ育った地域への誇りや愛着を子どもに育みたいと考えている。

【地域の方から】

- ・ 6年生の伝統の踊り，練習をたくさんしたのだろうなと思えるすばらしいものだった。この大崎の町を大事に思う気持ちというのも伝わってきた。
- ・ 6年生の銭太鼓，すばらしかった。これから先も続けていってくれとうれしい。
- ・ 6年生の菱田の伝統である「銭太鼓」は本当にすばらしく，涙が出た。これからもこのような取組が続いてほしい。